

日本の花飾り

武内 嘉一郎

最近の街の花飾りとして、ハンギングバスケットによる装飾が有効に使われるようになったことで、花の消費も増えたはず、と思っています。

日本ハンギングバスケット協会を設立してから、18年がたちました。ちょうど園芸業界の低迷時期と重なります。私個人の思いとして「立体花装飾」をスローガンに、街の美化と同時に消費拡大を狙ったものですが、今では、あちこちで見かける風景となったことは、ありがたいことです。

まもなく景気がよくなり、協会の更なる発展とともに、園芸業界が元気になると信じています。

一方、工場立地法の影響で屋上緑化が盛んとなり、今では太陽光発電所に代わり、壁面緑化がもてはやされています。社会の変わりようは、早いものです。

そんな中、私も壁面緑化事業の試験研究を重ね、各地でその施工をさせていただいております。ところが、それらの現場では、園芸業界が思う花装飾とは違い、あくまでも緑化面積達成という概念で事が進められ、作ればそれでよし、という感をうけました。

街になくてはならない緑、美しい景観、人と自然の

接点など、緑化の産みだす効果は絶大であり、良い方向での壁面緑化を望むものです。緑化推進の流れを一過性のものにしなないためにも、私たちプロが、メンテナンスの重要性をしっかりと伝えていかなければならないと思う次第です。

少なくとも、植物を水平ではなく、垂直の状態で生育させるわけですから、自然のままですべて育てる事は難しいのです。性質、環境に応じた知識、技術、研鑽が必要となってきます。

私は、この機会を逃さず、園芸業界の力を総じて、美しい日本を作らねばならないと決意しております。

また、平成 26 年春に成立した花き産業振興法や同年秋に成立するであろう都市農業基本法等の立法を受け、社会の関心は、いままでよりさらに農業や自然、癒しや健康等へと向いていくでしょう。

これからの日本で、花は「街の花飾り」だけではなく「日本の花飾り」として、重要な位置を占めるでしょう。

花葉会は、そのことを旨とし、これからもリーダーシップを取らねばならないと思います。

花葉

2014
NO.33

目次

禁無断転載

私の提案 日本の花飾り	武内嘉一郎 (1)
重イオンビームを利用した花卉園芸植物の育種	平野 智也 (2)
花きの振興に関する法律の成立と花き関連予算	川合 豊彦 (6)
表紙解説 ピレネーで見たジギタリス・プルプレア	長岡 求 (11)
林脩己先生のこと	小泉 力 (12)
オランダ情報③ Plantarium 2014	対馬 淳一 (16)
追悼 魚躬さんの思い出	小黒 晃 (19)
追悼 気配り、根回しの達人 岩井さんを偲んで	村井 千里 (20)
追悼 天衣無縫の恩師＝横井政人先生	安藤 敏夫 (21)
横井政人先生を偲ぶ会報告	國分 尚 (23)
花と緑のおもてなしプロジェクト	早貸 秀樹 (24)
「おもてなし」の花づくりを考える	林 角郎 (28)
自叙伝抜粋 花をわが生きる道と信じて	吉池 貞藏 (32)
私が花と過ごした日々と、これから	鈴木 忍 (39)
第29回花葉会サマーセミナーレポート	上田 善弘 (42)
花葉会海外園芸事情調査報告 ボタニカル・スケッチでたどる花葉会海外ツアー	鳥居 恒夫 (47)
花卉園芸学研究室レポート (松戸キャンパス) 研究室での経験	長谷川春佳 (51)
花卉園芸学研究室レポート (柏の葉キャンパス) 変わり続ける花卉園芸学研究室	土屋 慶輔 (52)
園芸別科花組レポート 花組の花組による花組のための日々	藤代 裕太 (53)
花葉会総会 (54) 花葉会よりご報告 (57) 花葉会賞受賞者紹介・記念講演 (58)	
会員名簿の追加と訂正 (62) 花葉会会則・役員名簿 (63)	